

第62回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JBO7	中学	生物	沖縄県
学校名	昭和薬科大学附属中学校		
研究作品タイトル	止水域におけるトンボの生息条件		
研究者氏名 (共同の場合はグループ名)	大城 航		
指導教諭氏名	上原 千種		

【動機】

今まで、小学校3,5,6年生と主にトンボの生態の研究を続けてきました。今回はトンボの生態以外にも、止水域における水質や底質などの環境を調べて、その環境に生息するトンボの種類も知りたいと思い、この研究をすることにしました。

【方法】

トンボの種類やその他の生息条件については、実際に現地へ行ってデータを収集することで最適な方法が得られると考えました。水質については、簡易的に調べることができ、かつ研究に必要なデータを収集できる水質測定キットを用いて調べました。

【結果】

主に以下のことが分かりました。

- ・水質では、俗に“きれい”な状態になると生息するトンボの種類が増えますが、“汚い”状態にも生息できるトンボもいました。
- ・周囲の環境では広葉樹林、また、水際の植物・水草のある場所では、トンボの種類が多いことが分かりました。

【まとめ】

結果から、トンボの生息条件のグループ分けができました。

- Aグループ（環境にあまり影響されない）
- Bグループ（人工的な開けた環境）
- Cグループ（自然的な植物の生い茂る環境）
- Dグループ（あまり人工的ではない開けた環境）
- Eグループ（分けることが出来なかった）

【展望】

今回のデータは、止水域においてトンボを見分けることによりその場所の環境を知ることにより用いることができると考えます。また、将来的に止水域の水質階級を作成したいと思っており、その際の指標生物としての参考データとして用いることができます。